

一般質問通告表

1.

4番 小中 真樹雄 議員

質問形式 一問一答

市政目安箱の設置を提案したい

市政への関心を持ってもらうとともに、市民の意見がよりダイレクトに市当局に届くように、「市政目安箱」(仮称)の設置を提案したいと思います。

目安箱といえば、徳川第8代将軍吉宗が享保の改革の一環として市井の人々の意見を聞くために設けたものです。その故事に倣い、いくつかの自治体では市長に意見が届くようにと設置されているようです。

現在、議会改革特別委員会で議員定数問題が俎上に上っていますが、高齢者から議員を減らすと市民の声が届きにくくなるとの声があるようです。しかし、連続無投票という事態を避けるためには、定数削減を視野に入れることも必要だと考えます。

「市政目安箱」を公民館などの公共施設に置き、寄せられた要望や苦情、提言などに市長や当局が耳を傾けることにより、市民との距離を縮められるのではないのでしょうか。さらに、メールやファクスなどでも意見を募集し、必要と思われるものには個別に回答するようにすれば、いいのではないかと考えます。

かつて千葉県松戸市の「すぐやる課」が話題となりましたが、予算措置の必要のないものについては早急に取り組むこともできるのでは、と考えます。市長及び当局の考えを聞かせていただければ、と思います。

2.

11番 児玉 朋也 議員

質問形式 一問一答

幼児期の視覚不良の早期発見について

遠見視力検査の結果で、遠くが見えれば近くは問題なく見えているだろうと近見視力についての正しい知識が乏しく近見視覚不良の子供が見逃されていることがあります。

本市の1歳6カ月検診、3歳児検診、就学前検診の近見視力検査機器導入、保護者への弱視に対する啓発内容についてお聞かせ下さい。

3.

13番 日域 究 議員

質問形式 一問一答

「義務教育は、欠席日数が多くても、授業に出ていなくても、テストができていなくても進級や卒業ができる。」これは事実ですか

上記は「大竹高校便り」に校長先生が書かれた文書です。義務教育をあずかる大竹市教育委員会としての感想を伺います。教育は段階を踏んで行われるものです。各段階での教育内容の理解と定着を確認するためにもテストは必要であり、そこをクリアして次の段階に進みます。当然、個人差がありますが、そこについてはどう対処されていますか。その対応ができていないとの懸念を感じます。それを隠すかのように、本来大切であるはずの成績の記録の保存年限を5年としました。そうではなく、成績の多様性にも対応して欲しいのですが。

広島県水道用水供給事業からの不要な水の購入をやめるべきです

水道料金は利用者がコストを公平に負担することを念頭に決められます。そこにコストに入れるべきでない経費が含まれていれば、利用者とすれば看過できません。大竹市は弥栄ダム完成時の広島県企業局とのやり取りの中で、大竹市には不必要な水道用水供給事業からの給水を決めました。これは上水のコストですから直接、利用者の財布に影響します。その証拠に、水道事業会計は一気に収支が悪化し値上げされています。市民をだまして県に貢ぐような状況を26年続けてきましたが、もうやめましょう。県のやり方も悪質です。

4.

8番 西村 一啓 議員

質問方式：一括

中山間地域内にある、廃校の市立栗谷中学校並びに、休校の市立栗谷小学校の今後の取り組みや、地域への対応をする本市のお考えをお尋ね致します

栗谷中学校は廃校後8年経過し、跡地を活用するための計画はどうするのか。

栗谷小学校は休校にして、3年が経過しているが、地域住民とその後の活用等について、話し合い等の意見交換はしているのか。

ルネス学園跡地の活用について、岩国大竹道路の工事等が出る土砂置場として活用する予定ですが、その後どのように考えているのか伺う

ルネス学園跡地は土砂置場として何年活用するのか。その後、現場の整備等はどのように考えているのか。

取り壊す費用や現状維持管理費は、どのように考えているのかお尋ねする。

5.

6番 小田上 尚典 議員

質問方式：一問一答

コロナ禍を経験したことによる避難所運営の変化はありましたか

コロナ禍を経験し、避難行動にも変化が生まれていると思います。以前までの避難所のイメージでは感染拡大の不安などがあり、避難所に行きづらくなっているのではないのでしょうか。

今後の避難所運営について、感染対策や避難所での情報発信方法などを伺います。

スピーカー改修が進んでいる防災行政無線の意義や効果はどのように検証していますか。臨時災害放送局の試験放送などの検証はされましたか

防災行政無線は情報伝達に欠かせない手段だと思いますが、他の手段との組み合わせが重要です。市民としてはどのように活用すればいいのでしょうか。

以前、災害時の情報伝達に有効だと考え、お伺いした臨時災害放送局の有効性をどのように検証されていますか。

6.

12番 山崎 年一 議員

質問形式 一問一答

選べる学校制服で、防寒や機能性、性的少数者(LGBT)へ配慮を

小中学校の制服をスカートとスラックスに自由に選択できる公立の学校が全国的に増加しています。広島県内でも、性別に関係なく制服を自由に選べる学校が多くなりました。防寒や防犯対策、機能性などとともに性的少数者(LGBT)に配慮する取り組みが進められています。本市の取り組みについて問います。

- ①県内公立小中学校で制服の自由化や選べる制服を導入した学校数。
- ②本市の小中学校の制服の規則や決まりなど現状について。
- ③小学生のスラックス、長ズボンの着用はどのように認められていますか。
- ④小中学生の制服や学校規定用品の保護者負担額。
- ⑤制服などについて保護者、生徒から要望や相談はありますか。
- ⑥性的少数者(LGBT)などの多様性に合わせた制服の見直しが必要と考えますがいかがですか。
- ⑦多様でグローバルな社会に生きていく生徒が通う学校の校則や決まりごとは、どのようにあるべきと考えられますか。

7.

3番 原田 孝徳 議員

質問形式 一問一答

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）と女性の働き手の確保の必要性について

本市の介護老人福祉施設に待機者がいる現状や、女性の介護負担を少しでもなくし、働き手として確保することの必要性。また、グループホームが特養化しつつある現場や老老介護の実態。このような市民の経済的、精神的、肉体的負担を少しでも軽減し、老後を安心して暮らすことのできるまちにするためにも、そして、さらに2025年問題という大きな課題（なみ）も目の前に迫ってきていることから、50床程度の介護老人福祉施設は本市に必要であると思うが、どのように考えているか伺う。